

深沢中学校
同窓会報



第21号

鎌倉市立
深沢中学校
深友会事務局
〒247-0063
鎌倉市梶原1-14-1
☎0467-44-1222

PTA活動に思う

深友会（深沢中学校同窓会）会長 矢澤 基一

私は現在深友会会長の他に常盤町内会会長、深沢地区連合町内会会長、深沢地区スポーツ振興会の会長を兼任しています。

これらはPTA活動と同じくボランティア活動と言えるものですが、深友会会長として深沢中学校の評議員会に出席し、また町内会長職を通じて深沢小学校にもお邪魔するたび、PTA室で役員さんが一生懸命活動等をしているのを見るにつけ疑問を感じています。

PTAとは戦後、当時の文部省がPTA結成を全国に呼び掛けることになり、都道府県を通じて、PTAの趣旨説明し、1948年にかけて全国的にPTAの結成が進んだと言われています。1950年には全国小中高の98%の学校にPTAが生まれています。

PTAは日本では「父母と先生の会」と訳しており、親と教師で構成され両者が対等の立場で学習し、自己を高めていく団体です。

PTAの本来の位置づけは保護者たち

の自立的な組織で、市や学校から命令を受けることの無い組織です。

現在、深沢中学校のPTAの役員さんは全員女性ばかりである。何故、「父母と先生の会」に男性がいないのだろうか？

たしかに三十代、四十代の男性はほとんどフルタイムで働いていると思うが、連合町内会やスポーツ振興会等の会議や行事は夜間や土日に開催している。そうしなければ男性は参加出来ないと言えらると思います。

親の球技大会、コーラス大会は必要でしょうか？「継続する行事、やめる行事」を整理し、子ども達の為を考えたPTAに見直しすべきでありましょう。

また、一部の人が熱心に取り組んでいる、無関心な人との差が激しいと思います。

中学のPTAは通学エリアが決まっておき、その地域にかかわりを持ち、地域の教育環境を改善したり充実したりすることに重点を置くべきであると思います。

子ども達の安全や、地域で育むという観点からも、学校と家庭、地域社会を結ぶ架け橋としてPTAへの期待はますます高いものにならざるを得ないと思います。

深沢中学校の教育方針、重点目標、具体的方法を十分理解することによって、それぞれの家庭で学校教育に協力する「共育」が必要と考えており、家庭教育に関する講演会、研修会等が必要であり、深友会も協力してゆきたいと思っています。

鎌倉歴史散歩…長谷方面

第十四回生 秋元 邦夫

平成二十九年十二月二十五日、鎌倉駅西口のいつもの集合場所の時計塔の西隅に建てられているウオーナー博士「文化は戦争に優先する」の碑を後に長谷方面に向う。五名と少ない人数でいつもの鈴木先生に案内をお願いする。静かな家並みをし

ばら行くくと本年五月に開館の「鎌倉歴史文化交流館」に到着。扇ヶ谷の無量寺跡と云う。鎌倉の歴史的、文化的遺産に対する理解を深める為に開館。今迄にない施設で見たえがある。更に佐助稲荷へ、狭い谷奥に鎮座する小さな社で頼朝が伊豆に流されていた頃に白髪のお翁が現われ旗揚げを勧めこの言葉に従って拳兵し、鎌倉入りをしたという。狭い境内から裏側に登ってゆくと銭洗弁天様へ御神体を祀る洞窟内の水でお金を洗って使うと



増えて戻って来ると言い伝えがあるとこるから、特に「己の日」に参拝客で賑わう。葛原岡で昼食。今回は「トンビ」の姿はなかった。大仏ハイキングコースを途中長谷の大谷戸方面へ下つて大仏の裏側を通りたどり着く、さすが参拝客が多い。外国人も多く浴衣姿で写真に収まる姿に驚く。開山開基共に明らかでない。元仏殿の中にあったが、津波や大嵐のために建物は消滅して露坐となり礎石を残すのみとなった。長谷寺の手前を右へ入ると光則寺海棠・梅・ヤマアジサイで知られる山野草を多く見られ「花の寺」である。ほどなくして長谷寺へ到着。坂東三十三観音霊場として江戸時代より参詣者が多い。最後に坂ノ下に鎮座する御霊神社へ、九月の例祭面掛行列は伎楽や神楽に使用される面を付けた祭り。長谷駅より満員の江ノ電で鎌倉駅へ解散。お疲れ様でした。（今年の歴史散歩の案内は 本会報の三頁をご覧ください）

「中学校完全給食開始」

鎌倉市立深沢中学校 校長 池田 吉伸

深沢中学校を含む鎌倉市立中学校では、今まで昼食時に牛乳のみを提供する給食でした。小学校では、以前から自校の調理室で作られる自校方式の完全給食を実施していました。

しかしながら、子供たちの豊かな中学校生活を推進し、健康の保持・増進を図り、将来の体づくりや生涯の健康維持の源とするという学校給食法に基づき、中学校での給食を通して生徒に栄養バランスのとれた昼食を提供する完全給食が平成29年度11月から始まりました。

小学校とは違って、自校方式ではなく、教育委員会の栄養士さんが、メニュー、食材を考え全鎌倉市立中学校同一メニューで、調理施設で給食を調理して各中学校へ配送するデリバリー方式による実施です。

給食の形態としては、米飯を中心とした主食及びおかず3〜4品を一人分ずつランチボックスに盛り付けて、牛乳とともに提供する形です。原則として、毎日汁物が用意され、主食と汁物は、専用の保温コンテナで配送され温かい状態で配膳されます。

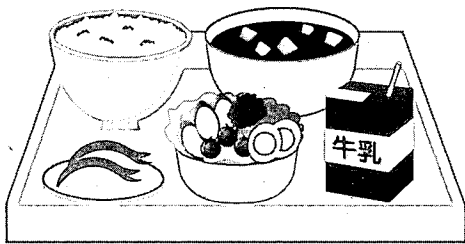
また、卵、牛乳、乳製品を一括除去したアレルギー対応食も用意されています。

ます。家庭からのお弁当を持参することも、インターネットでその日のメニューを見ながら注文することも可能です。

本校では、全校85パーセント以上の生徒が喫食しており、市内でも多い方です。

この毎日の給食には、「給食ひとくちメモ」が付いており、今日の献立とともに、その日のメニューにあった全国の郷土料理の紹介や栄養のことが書かれています。

本校では視聴覚委員が校内放送で紹介しており、生きた教材として、食文化の理解や食に関する指導を充実させています。



深沢歴史トピックス(五)

「お初の池」

第八回生 石井 和行

初沢谷の奥には、広さ一〇〇平方メートル位の池がありました。今は西鎌倉住宅地造成のために消えてその面影すら残っていません。

昔、お初という娘がこの近くに住んでいました。色は白く、気立ては優しく礼儀正しく、近隣の若者のあこがれの的でした。

お初の家への生活は貧しかったけれど、生活に負けず明るく、元氣な働き者でした。人々がその家の前を通ったり働いている近くを通ると、いつも透き通った美しい歌声が流れてきました。若者の中には言い寄る者も多かったし、この娘だったら是非良家の嫁に世話をしたいと申し出る人もたくさんいました。お初は、言い寄る若者にも、どんな条件の良い縁談にも耳を貸しません。結婚しようとしません。

お初には理解できない行動が一つありました。満月の夜、子の刻（真夜中の十二時）、密かに家を抜け出し、どこにもなくでかけることがあるのです。このことは、村の人たち誰も知りませんでした。

ところが、お初に思いを寄せる若者が夜遊びに行つて、夜遅くなつてしま

いました。月は空の真上に輝いていました。若者は、明日の仕事を考えながら大急ぎで帰る途中、お初の家になさしかかりました。若者は、今頃お初さんはどうしているだろう…、と思つて、お初の家の前に来ると、お初がちょうど潜り戸から出て辺りを見回して出てくる姿を偶然見かけてしまったのです。

若者は、とっさに身を物陰に隠し「お初さんは今頃どこに行くのだろう」と思い、やり過ぎました。お初は、若者が後ろを付けているとも知らず、手広の方に向かいます。手広に行くのかと思つているうちに、初沢谷にさしかかると急に左に曲がり、奥へ奥へと入っていきます。お初の足は速い。若者は一生懸命追うのですが、いつしか見失つてしまいました。

若者は、次の日からお初の行動に気をつけ始めました。若者は、この前の満月の夜からは、お酒をあまり飲まなくなりました。この前お初を見失った原因は、お酒を飲んでいただけだからだと信じていました。（つづく）

深中校歌の生い立ち (続編)

昭和四十五年三月卒業(第二十二回生) 岩壁 孝次

深友会だより第20号に掲載した「深中校歌の生い立ち」は、卒業生にとって関心が高く、いろいろなご意見をいただきました。その中でも校歌制定時期には諸説があるようで、「深中の五〇年」史等では、昭和三十四年一月の制定と記されていました。

しかし今回、当時在校していた卒業生から、昭和三十四年七月に「校歌発表会」が開催された時の文書の写しを送っていただきました。それは当時の校長だった吉松一夫先生が父兄に送った発表会開催の案内状と、開催結果を掲載した「深中新聞」(生徒会新聞部発行)で、これによると発表会の日付は昭和三十四年七月十四日、会場は当時深沢小学校の敷地内にあった深沢公民館でした。したがって、深中校歌が公になったのはこの日だということになります。

在校生はこれ以前の五、六月頃から音楽の授業等で校歌の歌唱指導を受けていたようで、当時の三年生が六月に実施された修学旅行の宿泊先で、もてなしのお礼に覚えてたての校歌を披露したという話も聞きました。親しみ易く美しいメロディーの校歌は、初めから生徒たちには好評で、少なからず誇り

に感じていたようでした。

深中の校歌は卒業生にとっては大切な宝であり、心のふる里とも言えるべきものであり、これからも末永く歌い続けていきたいと思います。

以下に掲載させていただくのは、以前にも原稿をお寄せいただいた神谷タナー未夏さん(第32期卒)のお便りです。一緒にお送りいただいた現住のスイスの写真ともどもご紹介させていただきます。

第32期の神谷未夏です。弟の第35期・神谷 颯とともに深中でお世話になり、鎌倉山の実家に、毎年、深友会だよりをお送りいただいています。私のように長く海外に住んでおりますと、母校やふるさとへの恋しさはひと二倍で、特に今回は大好きな校歌のお話が載っていて大変興味深く読ませていただきました。

私は深中卒業後、音楽の道に進み、今もスイスでそれを業としておりますが、深中校歌には特別な愛情と入れ込みを持っていて、特にあの中間部の変化、さわやかさと柔らかさの混ざった楽想を大変ほこりに思っています。

私の学年の32期は十年ほど前から同窓活動が盛んになり、これまでに全クラスを通じて大同窓会を三回ほど開催し、幹事会やクラス会、合同

クラス会などは、ほぼ毎年おこなわれていて、その度に皆で声を合わせ、同じ時代に机を並べた運命の出会いに感謝しています。私などは海外にいて毎回の参加はできませんが、フェイスブックやラインで同期の連絡はつながっていて、時代の流れの恩恵にもあずかっています。

校歌は同期の仲間だけでなく、先生方とも、そして学年の違う人々とも大切な共通項で、校舎や人が変わっても、校歌を通じ流れる精神は変わらぬところなど、いいなと思います。同窓会の運営そして同窓会だよりの発行、郵送の大変なお手間に、ひとこと御礼申し上げます。お便りいただきしました。どうぞお身体大切に。

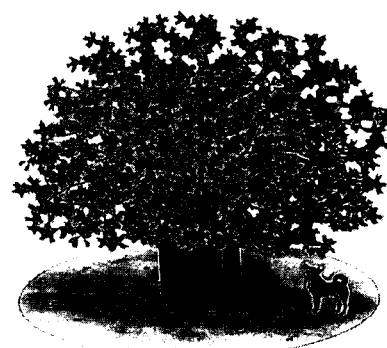
二〇一七年十一月二十一日

神谷タナー未夏



[深友会・鎌倉歴史文学散歩] 妙本寺・祇園山方面

1. 期日 平成30年11月24日(土)
2. 集合 鎌倉駅東口改札口 午前10時
3. 散策コース(概略)
鎌倉駅東口(表駅)・10時00分一本覚寺・妙本寺(比企氏・仙覚・竹御所跡等)・妙本寺裏山・祇園山ハイキングコース(見晴らし・昼食)・八雲神社・安養院・妙法寺・大宝寺・東勝寺橋・青砥藤綱墓・宝戒寺・北条執権邸墓・若宮大路幕府墓・二の鳥居・段葛・鎌倉駅東口(表駅) 15時30分(予定)
4. 案内図は当日配布します。
食事・飲物は各自用意して下さい。
5. お問い合わせ・参加申込 090-3697-7853 矢澤まで



逗子の松元妙子さん(旧姓中村・第19回卒)から深友会あてに美しいラメ入りの卓上飾りをお送り頂きました。有難うございます。

2017年度 卒業生進路状況

私立高校	公立高等学校
山手学院	横浜平沼
日本大学藤沢	光陵陽
鶴沼	柏
平塚学園	横浜緑ヶ丘
横浜隼人	横浜立野
湘南工科大学附属	(横)桜丘
横須賀学院	(横)金沢
アレセイア湘南	横須賀
湘南学院	逗葉
横浜清風	鎌倉
三浦学苑	七里ガ浜
柏木学園	大船
横浜創学館	深沢
横浜学園	湘南
旭丘	藤沢西
法政国際	湘南台
藤嶺学園藤沢	茅ヶ崎
藤沢翔陵	茅ヶ崎北陵
鎌倉女子大学	茅ヶ崎西浜
聖ヨゼフ学園	平塚江南
慶応義塾	大磯
東海大高輪	横浜桜陽
日本体育大学荏原	横浜栄
和光	藤沢清流
鶴川	平塚湘風
国立音大	小田原
慶応志木	(横)戸塚・一般
クラーク横浜校	(横)戸塚・音楽
星槎厚木	神奈川工業・電気
鹿島学園	藤沢工科 総合技術
北海道芸術	(川)川崎総合科学・デザ
	上矢部・美術
	横浜国際・国際
	(定単)湘南
	(定単)横浜明朋・午前
	(定単)横浜明朋・午後
	藤沢養護 本校
	鎌倉養護 金井分教室
	東京学芸大学附属
	都立日本橋

卒業生 161名

夏の部活動

今年も猛暑の中、夏の大会やコンクールが行われ、運動部も文化部も精一杯力を発揮し、活躍しました。夏の大会やコンクールに全力で臨む生徒たちの姿勢には感動を覚えました。また、深沢中学校には水泳部はありませんが、中体連主催の県大会を勝ち抜き、関東大会・全国大会に出場しました生徒も一緒にご報告いたします。今年の夏の大会、コンクールの結果は次のとおりです。今後とも生徒たちの活躍への応援を、どうぞよろしくお願いいたします。

各部活動の夏季大会の結果

陸上部	通信陸上競技大会 県大会 出場 ※9月17日(月) 9:30～ 鎌倉市中学校総合体育大会陸上競技の部 不入斗陸上競技場
バスケット(男子)	市内大会 出場
バスケット(女子)	市内大会 準優勝 湘南ブロック大会出場
サッカー部	市内大会 第3位 湘南ブロック大会ベスト8 鎌倉市中体連選抜選手 (小松慶太郎・坂本大知・竹田翔・林莊汰・弓削真太・和田哲平(3年))
軟式野球部	市内大会 出場
バレー部	市内大会 第3位 湘南ブロック大会ベスト16
ソフトテニス部(男子)	市内大会 出場 湘南ブロック大会個人戦 (太田・大塚ペア、安田・公森ペア) 出場
ソフトテニス部(女子)	市内大会 出場
卓球部(男子)	市内大会団体戦 6位 湘南ブロック大会団体戦 出場 湘南ブロック大会個人戦 (楠本恵士・前田勇樹) 出場
卓球部(女子)	市内大会団体戦 第3位 湘南ブロック大会団体戦 出場 湘南ブロック大会個人戦 (後藤菜緒・戸村咲紀・井上瑠奈・藤井鈴・徳光七香)
剣道部(男子)	市内大会 出場
剣道部(女子)	市内大会 出場
水泳	関東大会出場 100m平泳ぎ 土田侑季 (1年) 全国大会 100m自由形8位 土田充千穂 (3年) 200m自由形9位 土田充千穂 (3年)
吹奏楽部	県南吹奏楽コンクール中学校 A 部門 銅賞
合唱部	NHK 全国学校音楽コンクール 神奈川県コンクール 奨励賞 TBS こども音楽コンクール 優秀賞
科学部	市内エッグドロップ大会 優勝・4位 科学の甲子園ジュニア神奈川大会 実技競技 第2位

深友会からのお知らせとお願い

今年の夏は梅雨明けが異常に早く、稀に見る猛暑の夏でした。台風の発生も多く、地球の温暖化に伴い、今後、今年のような夏が増えていくのでしょうか。お手柔らかにと祈るほかありません。

「深友会だより」二十一号お届けします。

この会報は住所等が確認できた方にお送りしています。お手元に届かない卒業生で送付を希望される方は事務局までお知らせください。また同期生の名簿を新たに作成したときは事務局にお送りください。全員にこの会報を送らせて頂きます。

なお、同封の振込用紙は会費ではなく、寄付を強要するものでもありません。卒業生の連帯をはかる同窓会の活動にご賛同頂ける方に賛助金としてご協力をお願いするものです。ご理解ください。毎年、転居先不明の返送が多数あります。住所等変更の際は「一報ください」。ご寄稿、ご通信、賛助金お振込の節は卒業年度と旧姓をご明記くださるようお願い申し上げます。

今年も深友会主催の「鎌倉歴史文学散歩」を開催します。この会報の第三頁を参照の上、ご家族、ご友人とお誘い合わせの上、お気軽にご参加ください。(参加費無料)